

問 問題続発、今こそ判断すべき時

答 再稼働の是非、現時点ではしない



村と県が共に立ち入り調査を実施した
中央制御室の火災現場

問 東海第二原発はこの3年間で10回、さらに中央制御室でも火災発生。防潮堤基礎部の工事不良など、度重なるトラブルを起こしている。「再稼働は認められない」と、立地自治体の長としてはつきりと言ったときに来ていると考えるが。

答 火災については要請に対する原電の回答を見極めたい。再稼働の是非は、要件が残っているもので、現時点で申し上げることはない。

問 住民が安心して住み続けられる村を目指す。東海第二は運転開始から46年経過の



光風会
えり 恵利 議員

老朽原発。永遠に稼働できるわけではない。原発に頼らないまちづくりを今から考えておくべきでは。

答 現時点では仮定に基づいた議論をする段階にない。

問 指定管理更新、東海病院の評価は

答 地域医療へ積極的に貢献している

問 安心して住み続けるには地域医療の充実

は不可欠。東海病院はその中核をなすべき病院。これまでの医療体制をどのように評価しているか。課題は何か。

答 救急受け入れ数が年間650件など、地域医療へ積極的に貢献。介護ニーズへの対応として通所リハビリテーションや訪問看護事業などを開始。地域に欠かせない病院として役

割を果たしている。一方、地方の医師不足は全国的な共通課題。

問 地域医療の充実につながる具体的な取り組みは。

答 東海病院が保有するMRIやCT装置など、高度な医療機器を地域の医療機関と共同利用。他の医療機関から依頼される検査数は年々増加。

問 住民の利便性向上の改革とすべき

答 窓口・執務エリアを一体的に行う

問 窓口改革とオフィスの基本的な考えと今後の進め方は。

答 来庁者の利便性と職員の働きやすさを同時に高めることを目指す。来年度は行政棟2階から着手。議会棟・増築棟1階、行政棟4階の整備を順次進める。



地域医療振興協会が指定管理者として運営する東海病院

令和8年度は行政棟3階、1階を整備予定。

問 健康者目線の改革になっていないか、障がい者へのヒアリングは。

答 専門家をはじめさまざまな立場の人の意見を基に最適な整備案を策定した。